

令和7年9月4日 掛川市長

1 AI オンデマンド交通実証実験「CHAI(ちあい)のり号」の実施について

- ・掛川市の地域性に応じた持続可能な公共交通体系を検証するため、桜木地区において AI オンデマンド交通の実証実験を実施します。
- ①運行期間：令和7年10月1日～令和8年1月31日 7時30分～17時（土日祝日も運行）
- ②使用車両：10人乗りワゴン車1台、6人乗りワゴン車1台（車椅子利用可・午前のみ運行）
- ③利用方法：専用アプリによる乗車予約、電話による乗車予約
- ④乗降場所：表示を置く停留所108箇所、表示を置かない仮想停留所約1,000箇所
- ⑤運賃 ※令和7年10月1日～31日は無料乗車キャンペーン実施
 - ・大人（中学生以上） 乗車場所・降車場所がともに桜木地区内・・・300円
乗車場所・降車場所のどちらかが桜木地区外・・・500円
 - ・小学生・障がい者・障がい者の介助者は半額、未就学児無料（大人と同乗する場合）

2 「製品プラスチック」資源循環実証事業の実施について

- ・環境の持続性と豊かな暮らしの同時実現を目指し、製品プラスチックの回収促進や資源循環を進めるため、以下の実証事業を実施します。
- ①資源循環実証事業（拠点回収） ※掛川 SDGs プラットフォーム共創事業
 - ・実証期間：9月9日（火）から12月9日（火）10時～17時 ※毎週火曜日のみ実施
 - ・回収拠点：カインズ掛川店（上西郷）、カインズ大東店（大坂）
 - ・回収対象：硬いプラスチックのみでできた9品目（衣装ケース、コンテナ、バケツなど）
- ②資源分別回収実証事業（集積所回収） ※環境省との共同事業
 - ・実証期間：9月16日（火）から10月7日（火）※毎週火曜日のみ
 - ・モデル地区：緑ヶ丘第一区、緑ヶ丘第二区、上張区
 - ・回収対象：1辺が50cm未満で、プラスチックのみでできているもの

3 掛川市空き家活用モデル事業費補助金の採択について

- ・市内の空き家を改修し、地域活性化に貢献する施設を設置運営する事業者に対し、対象経費の3分の2以内（限度額1,000万円）を補助します。採択事業は、以下の4件です。

【採択事業】

- ①遠州横須賀 Suka-Ba X（すかーばっくす） 事業者名：バーチ株式会社
遠州横須賀街道沿いの町家を改修し、カフェと宿を併設した、誰もが立ち寄れる古くて新しい町のたまり場 通称“スカバ”を整備
- ②Kakegawa Front プロジェクト 事業者名：Kakegawa Front プロジェクトチーム
多様な人々が交錯し、居場所を見つける「最小限文化健康複合施設」を整備
- ③くらみ里山留学推進空き家リノベーション事業 事業者名：倉真地区まちづくり協議会
県下で初めての「里山留学」の児童を受け入れた倉真地区において、今後も留学生を継続的に受け入れることができるよう、2件の空き家を里山留学用に改修
- ④愛宕下美術館の保存再生と隣接空き家の民泊施設化計画 事業者名：愛宕下美術館家守チーム
「美術館×民泊」歴史的価値の高い私設美術館を改装整備し、隣接空き家を民泊施設に改装



4 「掛川だれでもスポーツチャレンジ」の開催について

- ・掛川市制20周年を記念して、スポーツを中心とした人や地域をつなぐスポーツイベント「掛川だれでもスポーツチャレンジ」を開催します。
- ・市内2拠点で同時開催、プロスポーツチームや地域スポーツ団体による体験コーナーや健康チェックコーナーのほか、誰でも楽しめるイベントを数多く用意しています。

【開催概要】 日時：9月28日（日）9時30分～15時（9時15分オープニング）
場所：総合体育館さんりーな、南体育館し～すぽ

5 その他

- (1) 市長定例記者会見の内容について ～市ホームページにてご確認ください～
右のQRコードから「市長定例記者会見」の内容をご確認ください。
- (2) 風水害・地震・津波対策寄附金状況 ～ご協力ありがとうございます～
155件 53,520,142円（8月26日現在まで）※前月まで 53,520,142円
- (3) 松ヶ岡プロジェクト寄附金状況 ～ご協力ありがとうございます～
565件 69,122,174円（8月26日現在まで）※前月まで 69,116,241円
- (4) ゼロ・ウェイストに向けて、ごみ減量進行中 ～ごみ分別へのご協力ありがとうございます～
令和7年7月のごみ搬入量 1,888トン ※前年同月比 6.9%減（140トン減）
右上のQRコードからごみ減量の傾向についてご確認ください。





掛川市施策について

健康・福祉分野

令和7年9月4日

掛川市長 久保田崇



© 掛川市 2025

掛川市を取り巻く現状と課題（健康・福祉分野）



中東遠医療圏の医療・介護将来需要予測(掛川市・磐田市・袋井市・菊川市・御前崎市・森町)

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年
医療需要	100	103	105	104	103	101
介護需要	100	114	124	128	129	127

地域医療情報システム:医療介護需要予測指標より

医療・介護需要は増加！

2020年と比較して、これ
からも医療も介護も必要
とされている地域

■介護認定者数の状況

(R7.3.31現在)

要介護認定者数 5,202人
要介護認定率 15.39%

■介護が必要となった主な原因

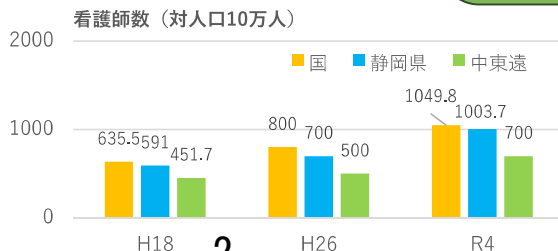
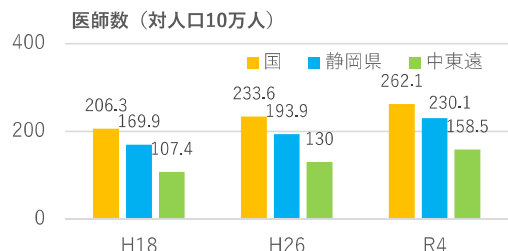
第1位 認知症
第2位 脳血管疾患
第3位 悪性新生物
(令和4年度掛川市介護保険新規申請者主治医意見書)

認知症が増加！

認知症になっても自分らしく
生きられる社会へ

静岡県は人口10万人あたり R4.12.31現在

医師数は、230.1人(全国39位) 看護師数は、1003.7人(全国37位)



医師・看護師はまだ不足！

医師も看護師も少ない地
域だから確保策と共に上
手な医療の使い方が大切

これまでの取り組み 中東遠総合医療センターの整備



整備に至る背景

当時の課題

- ・医師不足から地域医療の危機
- ・建物の老朽化
- ・地域医療再編の必要性

旧 掛川市立総合病院



旧 袋井市民病院



平成18年「掛川市・袋井市新病院建設協議会」設立

平成25年5月 全国初の自治体病院同士の統合
「中東遠総合医療センター」誕生



© 掛川市 2025 公開文書

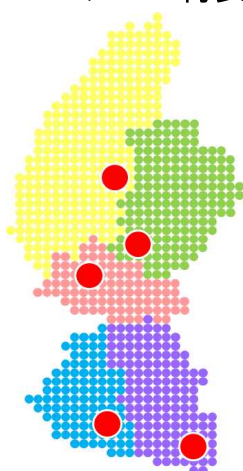
これまでの取り組み 「ふくしあ」・「希望の丘」の整備



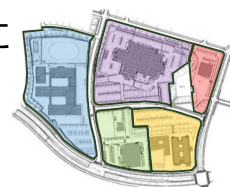
掛川市の地域包括ケアシステムの特長：専門職と地域が協働

市内5か所に「ふくしあ」を設置

東部ふくしあ(H22.10)
中部ふくしあ(H25.4)
西部ふくしあ(H27.4)
南部大東ふくしあ(H23.4)
南部大須賀ふくしあ(H24.10)



掛川市立総合病院跡地に
「希望の丘」を整備



掛川特別支援学校
掛川東病院・桔梗の丘(介護老人保健施設)
ぴのほーぷ(重度障がいの方の通所施設)
ラスール掛川(特別養護老人ホーム)
のぞみ保育園 隣接エリアの「ひだまり」も協力はる
かぜ(障がい児の放課後デイサービス)
中部ふくしあ・小笠掛川急患診療所

行政・地域包括支援センター・社会福祉協議会・訪問看護ステーションと地域の専門職が協力して地域生活を支えています。

見守りネットワーク活動進捗状況(R7.5月調査)

■集計

エリア	自治会数	支援員型			地縁型		検討していない
		実施地区数(組織数)	準備中	検討中	実施地区数(組織数)		
東部ふくしあ	45	35 (17)	2	0	7 (1)		1
中部ふくしあ	53	7 (6)	0	15	26 (8)		5
西部ふくしあ	46	25 (22)	0	9	5 (1)		7(休止1含む)
大東ふくしあ	17	17 (11)	0	0	0		0
大須賀ふくしあ	39	23 (19)	0	0	2 (2)		14(休止1含む)
合計	200	107 75	2	24	40(12)		22

これまでの取り組み



きんじろう健康アプリ 「きんトレ」(R5～)

日々の歩行数や食事、健康状態を記録できます。
掛川市民の健康状態を把握して施策に活かしていきます

ただいま**4,153人**が参加中！
(R7.8.15現在)

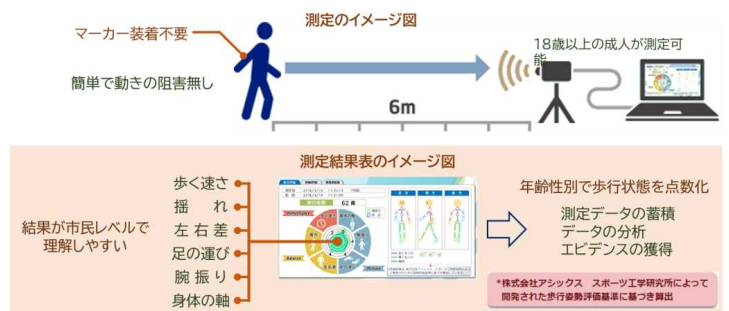
ウォーキングマップの作成と活用



リハビリ専門職と
3コース作成

歩行姿勢測定測定器の活用(R6～)

高齢者にも優しいDXへの取り組み(やりやすい、わかりやすい)



© 掛川市 2025 公開文書

認知症になっても生活しやすいまちへ



認知症の理解を広める
「認知症ケアパス」や居場所となる「認知症カフェ」を活用



今後の取り組み【健康・福祉分野】



①中東遠総合医療センター 新棟建設

- ・新棟1階は、がん診療機能強化のために高精度放射線治療器2台が整備されます。
- ・新棟2・3階は、リハビリテーション部門の拡充がされます。
- ・新棟3・4階は、予防医療の拠点となる人間ドック・健診センターが整備されます。
- ・令和7年9月着工予定。



②アドバンス・ケア・プランニングへの取り組み

- ・「人生会議(ACP)」は皆さんの思いやニーズを実現するプロセスです。
- ・その、思いを書き記すためのツールとして、今年の3月に「新・私の健康人生設計ノート」を更新しました。
- ・「人生会議(ACP)」に関する講座を10月4日と11月1日に開催予定。
- ・「新・私の健康人生設計ノート」のPRも行っていきます。



③かけがわ健幸サポーター

- ・無理なく楽しく継続できる体制で、保健師・栄養士とともに健康づくり活動をします。
- ・健康づくりに関する知識・技術を獲得する養成講座を受講し、登録後、活動を10月から開始します。
- ・応募者数(延人数)保健部 35人
食育部 67人
- ・保健部: イベントで健康測定会 等
- ・食育部: 食育講座のアシスタント 等



④希望の丘 マルシェ

- ・第3回となる本年度は9/28(日)に開催します。
- ・希望の丘を拠点とする8事業所が連携して、市民と事業所及び事業所間の絆を深めることを目的としています。(R6参加者数:4,400人)
- ・今年も医療、保健、福祉、介護、教育がすべて揃う希望の丘で、地域の皆様と共に楽しむイベントを多数用意しています。

